

令和5年度浅麓水道企業団議会議員行政視察研修

報 告 書

浅麓水道企業団議会

視 察 期 間 令和5年10月11日(水)～10月13日(金)

用 務 議会議員行政視察研修

参 加 者 議 長 佐 藤 敏 明

副 議 長 内 堀 喜代志

総務委員長 小 林 貴 幸

施設委員長 高 橋 公

横須賀 桃 子

土 屋 好 生

黒 岩 旭

尾 関 充 紗

青 木 春 美

田 邊 久 夫

柏 木 今朝男

神 津 正

篠 原 勤

土 屋 俊 重

吉 川 友 子

事務局 局 長 荻 原 和 浩

庶務兼工務
課長補佐 吉 沢 真紀夫

庶務係長 小 林 司

行 程

10月11日(水)

[新幹線] [貸切バス]
佐久平駅 ⇒⇒ 軽井沢駅 ⇒⇒ 大宮駅 ⇒⇒ 八戸駅 ⇒

八戸市 蕪島神社(昼食) ⇒ 八戸圏域水道企業団(視察 13:30~15:00)

[新幹線]
⇒ 八戸駅 ⇒⇒ 仙台駅 ⇒ ホテル

宿泊場所：宮城県仙台市「アルモントホテル仙台」

10月12日(木)

[貸切バス]
ホテル ⇒ 会津若松市 鶴ヶ城(昼食) ⇒⇒

会津若松市上下水道局 滝沢浄水場(視察 13:30~15:00) ⇒⇒ ホテル

宿泊場所：福島県郡山市「スターホテル郡山」

10月13日(金)

[貸切バス]
ホテル ⇒ 双葉郡富岡町(Fスタディーツアー) (視察 10:00~12:00)

[新幹線]
⇒ 小名浜港(昼食) ⇒ 郡山駅 ⇒⇒ 大宮駅 ⇒⇒ 軽井沢駅 ⇒⇒ 佐久平駅

視察目的

Ⅰ 『八戸圏域水道企業団』（青森県八戸市）

視察のテーマ 【水道事業の新たな連携・広域化】

平成 20 年に八戸圏域水道企業団と青森県南（11 市町村）及び岩手県北（9 市町村）の 21 事業者が水道事業の総合的な発展と合理的かつ効率的な運営を図ることを目的として「北奥羽地区水道事業協議会」を設立し、県境をまたいだ新たな広域化への取り組みとして注目されている。

水道事業者が正会員として連携と共同化に向けた検討や、管工事組合等の民間との協力体制を含めたこれからの水道事業のあり方を、多くの事業者と様々な項目について検討を進めてきた内容、検討状況及び今後の展望等について研修する。

○研修事項

- （1）八戸圏域水道企業団の概要について
- （2）北奥羽地区水道事業協議会の取組の概要について
 - ・協議会設立の背景、経緯等
 - ・広域的な連携のための 4 つの共同化について
- （3）今後の展望について
- （4）その他参考となる事項について

2 『会津若松上下水道局 滝沢浄水場』（福島県会津若松市）

視察のテーマ 【DBO 方式による滝沢浄水場更新事業】

老朽化した浄水場の更新において、コスト削減のため DBO 方式により高度浄水施設を整備した。また、浄水場の運転・維持管理及び送配水施設の維持管理を SPC（特別目的会社）へ第三者委託することとし、浄水場設計、建設、維持管理までを一括発注することにより、浄水場整備費が想定事業費 6,845,000 千円に対し 729,796 千円削減された。

今回の視察では、DBO 方式及び第三者委託方式について研修する。

○研修事項

- (1) 会津若松市上下水道局の概要について
- (2) DBO 方式による滝沢浄水場更新事業の概要について
 - ・更新事業に至る背景、経緯等
 - ・具体的な取組内容
 - ・取組の効果等
- (3) セラミック膜ろ過方式による浄水過程について
- (4) その他参考となる事項について

3 『原子力災害に特化したフィールドワーク』

(福島県双葉郡富岡町)

視察のテーマ 【原子力災害後の復興状況、取組等】

福島県は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した大地震、大津波、原発事故等、世界に類を見ない未曾有の複合災害に見舞われたほか、4 月 11 日・12 日の大規模な余震によっても、大きな被害を受けた。現在、福島県は、関係機関と連携しながら、東日本大震災からの復旧・復興に向けた取組みを急ピッチで進め、地域の再生と風評の払拭に努めている。

福島県で起きた未曾有の複合災害の事実や復興の現状・課題を見て、感じ、学び、そして、その学びを整理・共有し、震災・原発事故の教訓やそこで学んだ視点を地元地域や社会全体の課題解決へつなげることを目的とする。

○内容 地元ガイドが語り部として震災の過去から現在を案内

浅麓水道企業団議会議員行政視察研修

次 第

日時：令和5年10月11日（水）13:30

場所：企業団庁舎1階 大会議室

（進行：事務局次長兼総務課長兼危機管理監 田村明義）

1. 歓迎挨拶 八戸圏域水道企業団副企業長 古川 勲
2. 御挨拶 浅麓水道企業団議会議員 佐藤 敏明 様
3. 調査事項
 - ① 八戸圏域水道企業団企業団概要説明(DVD) 事務局長 三浦 哲也
 - ② 北奥羽地区水道事業協議会の取り組みの概要について
事務局次長兼経営企画課長 巻 泰伸
4. 質疑・応答
5. お礼の挨拶 浅麓水道企業団議会副議長 内堀 喜代志 様
6. その他
 - ① 八戸圏域水道事業統計年報
 - ② 八戸圏域水道企業団パンフレット
 - ③ 白山浄水場パンフレット

浅麓水道企業団議会議員 行政視察研修 次第

日時：令和5年10月12日（木）

午後1時30分から

会場：滝沢浄水場

1 開 会

2 あいさつ

- ・会津若松市上下水道局 局長 鈴木 勇人
- ・浅麓水道企業団 議会議長 佐藤 敏明 様

3 主な調査項目

(1) DBO方式による、浄水場施設更新事業の概要について

(2) セラミック膜ろ過方式による浄水過程について

4 質疑応答

- ・進行 浅麓水道企業団事務局 局長 荻原和浩 様

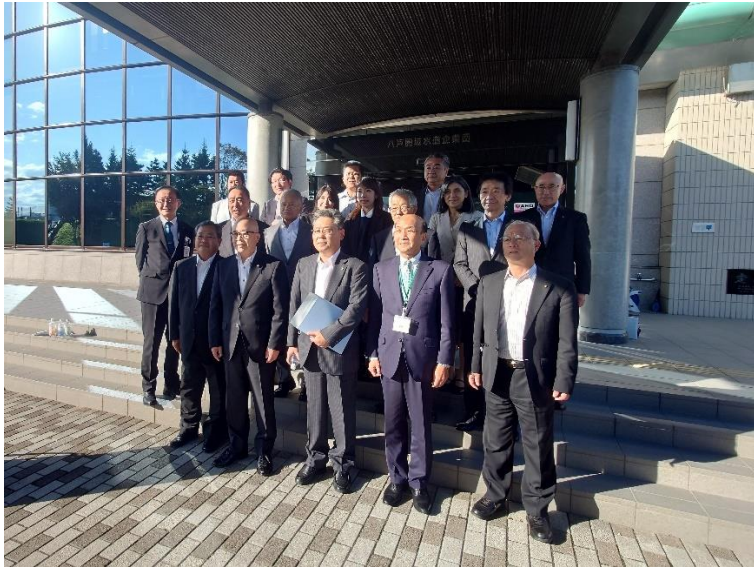
5 施設見学

滝沢浄水場施設ご案内

6 御礼あいさつ

- ・浅麓水道企業団 議会副議長 内堀 喜代志 様

7 閉 会



八戸圏域水道企業団
令和5年10月11日(水)



会津若松市上下水道局
(滝沢浄水場)
令和5年10月12日(木)



Fスタディーツア
令和5年10月13日(金)

議会議員行政視察研修精算書

1	期 日	令和5年10月11日（水）～10月13日（金）	
2	視 察 先	八戸圏域水道企業団 会津若松市上下水道局 滝沢浄水場 福島県双葉郡富岡町 原子力災害に特化したフィールド ワーク（Fスタディツアー）	
3	参 加 者	18名（事務局3名）	
4	総 費 用	2,281,254円（一人当たり126,736円）	
5	個 人 負 担	294,915円（一人当たり19,661円）	
6	支 出 額	1,986,339円（一人当たり110,352円）	
	議会費	旅 費より	1,699,150円
		委 託 料より	188,884円
		賃 借 料より	6,750円
		交 際 費より	4,800円
		食 料 費より	86,755円

7 費用内訳

（単位 円）

摘 要	金 額
鉄道運賃	691,980
バス代（有料道路、駐車料含む）	422,920
タクシー代	6,750
宿泊代（10/11 仙台市、10/12 郡山市）	445,500
会食代・昼食代他	520,420
旅行保険料	10,944
添乗員費用・企画料他	141,940
視察先お土産	4,800
Fスタディツアー	36,000
合 計	2,281,254